

平成25年度グローバルイノベーション創出支援事業 実施状況・成果



ベンチャー 世界で勝負

未来を築く
地域発イノベーション



吉川 正晃

起業家支援の「ハブ」開設



大阪市の起業家支援ハブの内部の様子

大阪市の起業家支援ハブは、2013年4月に、JR大阪駅北隣のグランフロント大阪北館7階に開設された。世界から人や情報、資金が集まる場所をめざし、セミナーやビジネスプラン発表会などを開く。

22日までの8日間は「IT×ものづくりによるイノベーション」をテーマにした国際会議を開催中。

「キブ・アンド・テック」は与えることから始まる。連回りのようだが、まず自分が他人のために何が出来るかを考えることが大切だと語る。イノベーションは一人では起こせない。

「成功者は皆々に誕生している。この成功者が次の成功者を生む」と語り、大阪人、情報、資金が集まるアジアのシリコンバレーだ」と語る。

2013.7.17 日刊工業新聞

大阪をシリコンバレーに



開業式の様子

この人に聞きたい

大阪市の起業家支援ハブ、大阪イノベーションハブの責任者として、月末、失敗しても継続して起業を目指す人たちに語り、認められるから、失敗も必ず成功につながる。

行政がなぜ起業支援をするの？

大阪イノベーションハブ

ベンチャー企業を支援するため、大阪市の2013年4月、JR大阪駅北隣のグランフロント大阪北館7階に開設。世界から人や情報、資金が集まる場所をめざし、セミナーやビジネスプラン発表会などを開く。

大阪市理事

吉川 正晃 (50)

「自分達が出来る」と思っているものが、必ずしも世に受け入れられるものではない。5月の昨年参加者から、100以上の意見が寄せられた。

「ベンチャー企業を支援する」は、行政がやるべきことではない。民間がやるべきことだ。

「ベンチャー企業を支援する」は、行政がやるべきことではない。民間がやるべきことだ。

「ベンチャー企業を支援する」は、行政がやるべきことではない。民間がやるべきことだ。

2014.2.20 朝日新聞

発展へ活気生む

広がるベンチャー支援 産学タッグ充実

人のつながりから新機軸

関西経済特集

CNET JAPAN 2013.7.15

IT Pro 2013.7.17

- 【参考】他団体Facebookページいいね数
- ・MOVIDA JAPAN 1,949
 - ・大阪商工会議所 943
 - ・大阪市広報 757
 - ・京都リサーチパーク 455

①イノベーション人材のコミュニティ形成 ②海外ワークショップ

実施状況

①イノベーション人材のコミュニティ形成

- ・Raspberry Piが開くGlobal Innovation
- ・W-SHIFTプロジェクト 9回
- ・Open Mentoring Session 2回
- ・Mindset Session for Young Entrepreneur
- ・TOMODACHI WOMEN'S LEADERSHIP 4回
- ・よしもと協力「ツッコまれピッチ！」
- ・Morning Meet Up
- ・堀江貴文氏、Tehu氏講演
- ・京阪神学生ビジネスプランコンテスト
- ・G7 Hackers Club Meeting 他多数



②海外ワークショップ

- ・シリコンバレーツアー 26年2月24日～3月1日

訪問先:スタンフォード大学、Tesla、Google、box、500Startups、

sunbridge USA、TechShop、

Plug and Play、Draper Univ.

Cisco Systems、TiE Silicon Valley

・ダイジェスト動画(5分) YouTube

<http://youtu.be/ZnbHp-v9HQs>

成果

○人・情報を引き付け、イノベーションエコシステムの基盤に寄与

○Osaka Hackers Club 【パートナー企業等(抜粋)】



【海外ワークショップ】(参加者の声 抜粋)

- ・シリコンバレーに来ることによって広い世界を見るきっかけにしたい
- ・本場の開発の雰囲気を知りたい
- ・日本のインターンシップとは違いレベルの高さを感じた
- ・メンター、VCから意見をもらえる貴重な機会
- ・起業は思いつきでできるものではなく、自分の専門性を磨いて強みをつけないといけない

【昨年の海外ワークショップ参加者から起業】

- ・Cofame_ 電子名刺サービスを通じた
- ・islamap_ イスラム教徒向け食検索アプリ
- ・Warrantee_ 保証書電子化管理サービス
- ・digibeatle_ 筋電位センサを活用した機器開発

①ニーズ顕在化プログラム

実施状況

①ニーズ顕在化プログラム(一部)

- ・次世代デバイス”Telepathy One”アイデアソン
- ・リーンローンチパッド大阪 2クール

①25年6月29日～8月17日 ②25年12月21日～3月1日

- ・Assistive Technology Innovation Workshop 全4回 他

②ハッカソン

- ・ものアプリハッカソン
- ・シャープ CoCreation Jam ココロホ[®]編、スマホライフアクオス編
- ・One Panasonic Hackathon
- ・AIハッカソン
- ・Google Hackathon
- ・スーパーハッカソン2013
- ・Earth Communication Award
- ・日経BP 大阪ハッカソン
- ・Mashup Awards 9



②ハッカソン

成果

【Telepathyアイデアソン】

テレパシー社から提供されたデバイスを活用した実用化アイデア5件創出

【リーンローンチパッド大阪】

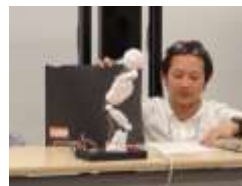
- ・多数の熱心な受講生が顧客開発モデルを実践し、ビジネスプランのブラッシュアップを行った。起業準備する受講生も複数名輩出
- FURICLE 海外の着物愛好家向けサービスを開始



【ものアプリハッカソン】

「共感ロボットシナスタ」「ハイライトシャッター」「クリップボイス」「ふっとオフ」

- ・プロトタイプをベースに開発継続中



【昨年のものアプリハッカソンから】

- ・Moff

(腕時計型でスマホと連動し音を出すスマート・トイ)

起業の後、平成26年3月米国大手メディアTechCrunchで紹介、オースチンSXSW出展、AOLで紹介、クラウドファンディングにて48時間で目標額達成



③オープンイノベーションマッチング

実施状況

③オープンイノベーションマッチング

・イノベーションエクステンジ

サンスター、オンキヨー、yet2.com(グローバル企業5社)、
レキットベンキージー、展示会(19社)



④事業開発研究会

・社会インフラモニタリング研究会

新しい維持管理システムの開発をめざす
実際に橋の耐震補強現場も視察



・オープンデータとソーシャルデザイン研究会

講演、事例紹介とともに、実際に大阪市のオープンデータなどを使用し
ハッカソン3回を実施

・ネットワークロボットフォーラム公開講演会

・International Open Workshop on Ambient Assisted Living

・有機エレクトロニクス材料(JOEM)研究会

④事業開発研究会

成果

【イノベーションエクステンジ】

- ・(サンスター) オーラルケア関連製品(歯周病・口腔用途小型センサー等)の実現に向けて必要とされる技術募集を行い、42件の提案があり、うち、9件が最終面談に残り、サンスターと交渉中。
- ・(オンキヨー他) 多数の参加企業が提案を提出、提出先企業で検討中
- ・(展示会) 多数の来場者が訪れ、出展企業も満足度が高かった



【社会インフラモニタリング研究会】

- ・レーザー式測域センサ開発企業と大学が実証検証プロジェクトを立ち上げ
- ・ロボット技術による高速道路保守管理に関する勉強会を高速道路関連会社とものづくり企業で立ち上げ
- ・高速道路の現状と開発中の点検・診断技術の評価方法の検証委員会を立ち上げ

【オープンデータ】

- ・大阪市のオープンデータへの取組みを後押し
- ・LiODチャレンジJapan 2013審査員特別賞チャレンジデー賞受賞
「大阪市の施設情報・防災情報のLOD」
- ・防災データを使ったゲーム公開

http://museum-media.jp/lod_hackathon/game20131019/



「大阪の古地図と
施設データの合成」

実施状況

平成26年2月19日 13:00～19:30
 グランフロント大阪 ナレッジシアター



第1部 講演会

- 1. マット・ウェブ氏 (BERG Cloud CEO)
- 2. エリック・ミジコフスキー氏 (Pebble Technology CEO)

第2部 パネルディスカッション

- 1. 「Internet of thingsの潮流に見る日本の産業の可能性」

モデレータ: 湯川鶴章氏 パネリスト:

マット・ウェブ氏、エリック・ミジコフスキー氏、稲田雅彦氏



- 2. 「大企業の新たな挑戦～ベンチャーとのコラボレーション」

モデレータ: 斎藤祐馬氏 パネリスト:

八木啓太氏、矢島里佳氏、上田 徹氏、
 江幡智広氏



第3部 インターナショナルピッチコンテスト

国内外から10名が登壇

- 日本6名、台湾、インドネシア、
 シンガポール、イギリス



成果

・参加307名(うち外国人69名 22.5%)

- 起業者51名、VC/投資家17名、企業関係者141名、学生42名、
 公的団体33名、大学研究機関12名、マスコミ7名、その他4名

・メディア掲載

ITpro (2月20日 2件)、日経産業新聞(2月20日)、

The Bridge(2月20日 2件、2月23日、2月26日、2月27日)

日経産業 2014.2.20

IT Pro 2014.2.20

「ものづくりイノベーション」の国際イベント、ベンチャー集積目指す大阪市が開催 (2/2)

2014/02/20
 築物 風船 日経イノベーションICT研究所 (筆者執筆記事一覧)

さらに、シリコンバレーでは競合同士であっても、アイデアを共有できる土壌があることや、メディアをうまく活用してクラウドファンディングに成功したことなどを紹介した。

その後のパネルディスカッションには、Webb氏とMigicovsky氏に加えて、カプカ代表取締役兼CEOの稲田雅彦氏が登壇し、ものづくりベンチャーの可能性や日本欧のベンチャー環境の違いについて議論した(写真3)。ベンチャーを生み出す環境についてMatt氏は、「資本、大企業とベンチャーの交際の場、支援コミュニティが必要」とし、この点では大阪とロンドンに似ているとした。Migicovsky氏は、「シリコンバレーは“クレーター”と思われるような実績が「建設的な批判する土壌」といった風土を紹介した。



写真3 ● 登壇講演に登場した2人とカプカの稲田雅彦氏によるパネルディスカッション



【参加者の声(抜粋)】

・英語ベースのイベント構成で世界へ向けた意気込みが感じられ良い刺激になりました。本格的な国際会議で非常に刺激を受けました。上っ面な議論ではなく、中身がある議論が多く、とてもモチベーションがあがりました。ピッチコンテストは今回の入賞者レベルの参加者を反復継続して集められるように育てていただくことを期待します